

都市再生整備計画 事後評価シート
木戸・大形・東石山地区

平成24年10月

新潟県新潟市

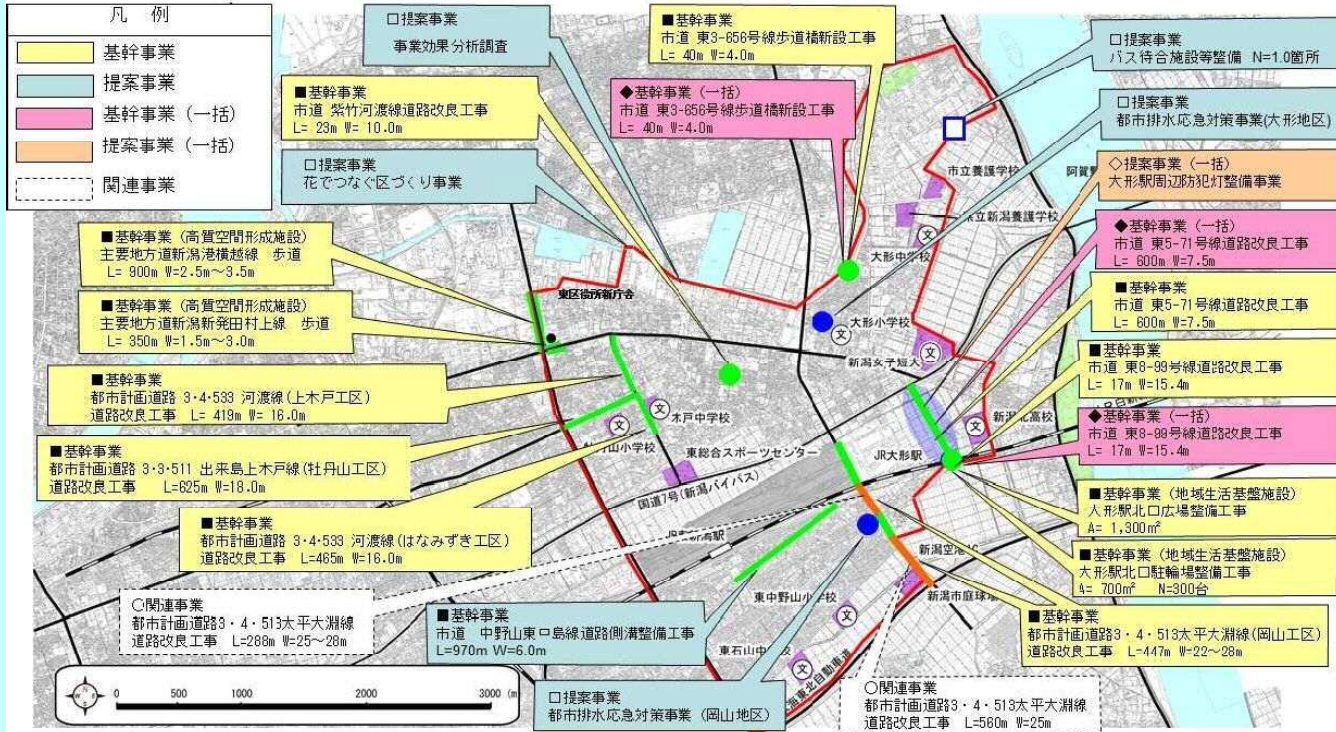
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	新潟市		地区名	木戸・大形・東石山地区			面積	1,010ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	2,194百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路整備(9路線)、地域生活基盤施設(大形駅北口広場、大形駅北口駐輪場)、高質空間形成施設(主要地方道新潟港横越線歩道、主要地方道新潟新発田村上線歩道)										
		提案事業	地域創造支援事業(バス待合施設等整備、都市排水応急対策事業)、事業活用調査(まちなかにおける空家および空地活用調査、事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(花でつなぐ区づくり事業、大形駅周辺防犯灯整備事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		-			-					
		提案事業	事業活用調査(まちなかにおける空家および空地活用調査)		まちなかにおける空家および空地活用調査:			空き地・空き屋活用調査であり、指標への影響は無い。					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路整備(6路線)、地域生活基盤施設(大形駅北口広場、大形駅北口駐輪場)、高質空間形成施設(主要地方道新潟港横越線歩道、主要地方道新潟新発田村上線歩道)		道路整備:道路の改良を図るため追加 大形駅北口広場:安全で快適に駅が利用できるよう追加 大形駅北口駐輪場:安全で快適に駅が利用できるよう追加 主要地方道新潟港横越線歩道:安全で快適な歩行空間の確保を図るため追加 主要地方道新潟新発田村上線歩道:安全で快適な歩行空間の確保を図るため追加			指標の改善へ貢献するものの、指標への影響は少ないと考え、数値目標は据え置く。					
提案事業		事業活用調査(事業効果分析調査)		事業効果分析調査:今後のまちづくりの検討を行うため追加			事後評価調査であり、指標への影響は無い。						
交付期間の変更	当初	平成20年度～24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし						
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	交通事故発生件数	件	192	H18	180	H24	-	121	○	あり なし	地区内の交通処理能力が向上したことで、交通事故発生件数が減少した。	平成25年8月
	指標2	区の花認知度	%	9	H19	30	H24	-	34	○	あり なし	植栽イベント等の開催により地域住民が花に親しむ機会が増え、区の花認知度が上昇した。	-
指標3	イベント参加人数	人	45	H19	150	H24	-	211	○	あり なし	地域住民のニーズに合ったイベントにより地域住民がまちづくりに参画する機会が増えた。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道雨水幹線整備と連携し、道路側溝および横断樋管が整備されたことで、水害に強いまちとなった。 ・バス待合施設(バスシェルター)が整備され、天候の影響による不便さが軽減された。 ・植栽イベント等を通じて、地域間の交流が活性化し、地区に一体感が生まれた。 												
5)実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			今後の対応方針等						
	住民参加プロセス	「通船川歩道橋整備勉強会」を開催し、整備に対する周辺住民要望の集約及び地元調整を実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 必要に応じて、住民ニーズの把握と地元調整を図る。						
		「フラワーロード整備事業(花でつなぐ区づくり事業)」において、地域住民が主体となった区の花「ポーチュラカ」の植栽活動を開催した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 引き続き、地元住民のまちづくりへの参画意識の醸成を図る。						
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

木戸・大形・東石山地区(新潟県新潟市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
【大目標】: 安心・快適で利便性の高い住環境の創出 目標1: 交通機能の向上により利便性の高い安全・安心に暮らすことのできるまちづくり 目標2: 地域の一体感を高めやすらぎと潤いのあるまちづくり	交通事故発生件数	単位: 件	192 H18	180 H24	121 H24
	区の花認知度	単位: %	9 H19	30 H24	34 H24
	イベント参加人数	単位: 人	45 H19	150 H24	211 H24



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路を改良したことで走行環境が改善された。 ・歩道拡幅やガードパイプ設置、点字ブロック設置により歩行空間が確保・改良された。 ・バス待合施設(バスシェルター)を整備したことで、公共交通の利便性・快適性が向上された。 ・下水道雨水幹線整備と連携して道路側溝および横断樋管を整備したことで、水害対策が強化された。 ・道路整備を確実に進めていき、安心・安全な道路空間を確保していく必要がある。 ・大形駅北口広場整備および大形駅北口駐車場整備を確実に進めていき、駅の利便性や駅へのアクセス性を向上する必要がある。 ・大形駅周辺防犯灯整備を確実に進めていき、夜間における歩行者の安全・安全な動線を確保する必要がある。 ・南北方向軸を形成する幹線道路を改良したことで、地域間のアクセス性が向上された。 ・公園や小中学校、幼稚園、保育園などに花を配布し、植栽イベント等を開催したことで、地域間交流が促進された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体となったまちづくりイベントを通じて地域間交流の促進を図る。 ・交通アクセスの向上を図るとともに、安心・安全で快適な道路空間を整備する。 ・ハード施策に加え、啓発活動等のソフト施策を併せて行っていくことで交通安全に対する意識の醸成を図る。 ・大形駅北口に駅前広場や駐輪場を整備するとともに、駅周辺道路において夜間の安心・安全な動線を確保することで、自動車および自転車・歩行者のアクセス性の向上を図る。